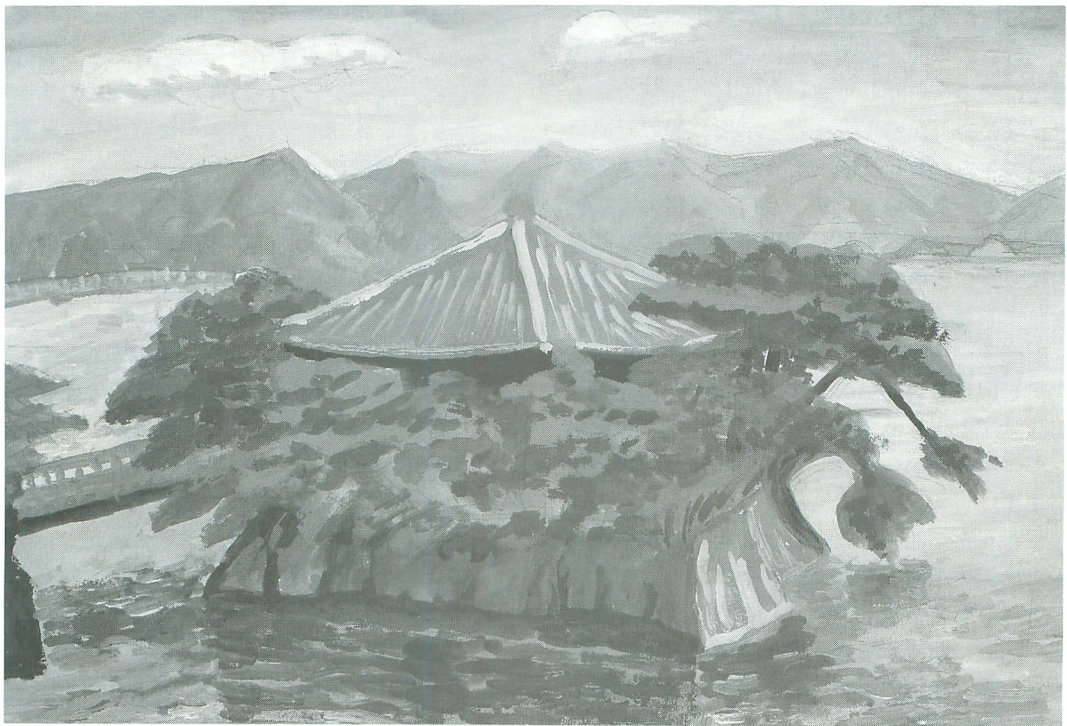


近 税 な に わ

発行所 近畿税理士会浪速支部
発行人 支 部 長 稲 垣 良 三
編集人 広報委員長 榮 村 健 造

〒556 大阪市浪速区大国1-1-6
新大国ビル
TEL (06) 633-2459



支部旅行：松島・五大堂にて

菱木淳一先生 提供

目 次

ご挨拶	稲垣 良三(2)
新任役員ごあいさつ	岡 正(2)
転入幹部のご紹介	(3)
随 筆	
北海道一人旅	井澤 清仁(4)
楽しんでこそ人生	梶田 久夫(5)
春山登山の回想	太田 武男(5)
私と俳句	伊藤 誠康(6)

ありがとう浪速	山崎 二郎(7)
委員会だより	(8)
支部行事予定	(11)
朱夏競詠	(11)
支部親睦旅行	林田 久美・岩橋 一好(12)
新入会員ご紹介	澤田 透(14)
藤原達郎先生を偲んで	斉岡 貞夫(15)
編集後記	(16)



浪速支部長

稲垣 良三

暑中お見舞い申し上げます。

会員の皆様方には、お変わりなくご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

平素は、支部運営・活動に格別のご理解・ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて昨年の 5 月に新執行部が誕生して 1 年を経過し、この間、協調と連帯を基盤とした支部運営に努力をいたしてまいりました。何分にも未経験の分野が多く、また、不慣れ等のために会員先生方に満足していただけなかった点多々あったことと思いますが、会員の皆様方のご支援と役員並びに各委員の先生方の献身的なご尽力により、各種支部行事が円滑且つ盛況に実施されました。衷心より重ねて御礼申し上げます。

支部運営に当たり、各委員会を整備・拡充し、次代を担う若い委員の先生方が精力的に充実した活動を実践した結果、支部の活性化と会員相互のコミュニケーションが強く図られた事と思えます。

また、青年部の事業活動は、年齢の垣根を越えた交流を深め、支部活動の下支えとして大きく寄与しています。支部としても、今後の青年部の活動に期待すると共に出来るだけの支援をしていきたいと思っていますので、先輩会員の皆様方におかれましても、ご理解をお願い致します。

この 1 年間の経験を生かし、残りの任期を会員相互の親睦と意思の疎通を図りつつ、税務行政当局との相互信頼関係を益々強化し、各種事

業活動を積極的に推進してまいりたいと思っております。

ご承知のとおり、税務当局では 7 月 10 日付にて定期人事異動が発令され、総務課長はじめ幹部の一部が転入出されました。

新体制におかれましても、これまで培われた信頼関係を継承し円滑な支部運営にご協力を賜ることをお願い申し上げます。

昨年は阪神大震災に始まり、暗いニュースの多い年でありましたが、年が明けても金融機関の破綻に端を発した住専問題の処理に政治の空白を招き、本年度予算が相当後れてやっと成立した国政状況にあります。

一方私ども税理士を取巻く環境も、商法改正による最低資本金制度への適切な対応処理、平成 9 年 4 月から施行される改正消費税法の問題等、厳しいものがあります。

私共執行部としましては、このような現実をしっかりと見つめ、税理士の社会的使命の達成と社会的信用を更に高めるべく、資質の向上を図り研鑽を重ねるため、研修会等支部活動の充実に努めてまいりたいと考えております。

申すまでも無く支部活動は、会員先生方の深いご理解とご協力によって、円滑に行われるものであります。今後とも業界の発展と税理士の社会的地位向上のため、会員先生方のなお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、会員先生方のご活躍とご事業のご隆盛並びにご多幸を心より祈念申し上げます。私のご挨拶とさせていただきます。

新任役員ごあいさつ



幹 事

岡 正

この度、第 16 回支部定期総会において、幹事

を仰せつかりました。

何分初めての経験でございますので、何かと不行届きの点があり、ご迷惑をおかけする事もあるかと思えます。しかしながら、諸先輩方のご指導、ご協力を賜りながら頑張る所存でございますので、何卒よろしくお引立ての程、お願い申し上げます。

転入幹部のご紹介

こ じま けん しょう
小 嶋 健 生



総務課長

(前任署・官職)
右京税務署
個人1統括官

かき お しげ よし
垣 尾 重 吉



管徴統括官

(前任署・官職)
西宮税務署
管徴3統括官

よし ざき たけし
吉 崎 猛



個人3統括官

(前任署・官職)
国税局・調査二部
調査13主査

ひ ぐち つよし
樋 口 豪



法人特官

(前任署・官職)
奈良税務署
特官(法人)

に お ひで し
仁 尾 秀 師



法人1統括官

(前任署・官職)
国税局・総務部
人事1課人事専門官

ふる た てる ゆき
古 田 照 幸



法人2統括官

(前任署・官職)
国税局・課税二部
法人税課総務係長

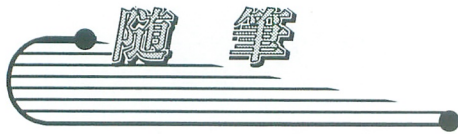
かわ の ゆり たか
河 野 百合隆



総務課長補佐

(前任署・官職)
東大阪税務署
法人1総括上席





北海道一人旅

井澤 清 仁

私は以前胃の切除手術をしましたが、そのことを「腹切り物語」と題して、本誌に一文を載せていただきました。だがそれは入院手術に至るまでの前半部分だけであって、尻切れのまま今日まで来ました。その後おかげ様で経過極めて良好、日常生活も殆ど元通りの有様ですので、今更かの物語の続きを書く積りはありませんが、唯一っだけ書いて置きたいのは、“ガン保険”の効用ということです。深い考えもなく、まさか自分がそのお陰を蒙ることになると考えもせず、わずかな掛金だから続けて来たところ、入院手術と言う現実場面でこれが大いに役に立った点を皆様におかれても関心を払われたらと思う次第であります。

さて退院後暫くは、遠方への旅行など考えられなかったのですが、1年余を過ぎた頃から、湧然と旅心が起こって来て、昨年7月14日から20日まで6泊7日の北海道旅行を志し、リュックを肩にのんびりした一人旅を楽しんで来ました。

旅の主な目的は、第一は富良野地方のラベンダー風景に浸ること、第二は花の浮島と呼ばれる礼文島のお花畑を歩き廻ること、この少女趣味と笑われそうな2点であります。

実は北海道へは何度となく旅しており、大抵の所は知っており、手術入院の3ヵ月前の2月にも札幌の友人と知床の流水や札幌の雪祭りを見て廻りました。

ご存じの如く北海道の7月は、誠に晴れやかな清澄の気に満ち、内地とは一味違うエキゾチックな風光が味わえる季節で、私はついその魅力に誘われてしまう気がするのです。

今回の旅行では、勿論ラベンダーと高山性の花畑を楽しんだだけではありません。

先ず青函トンネルの海面下数百メートルにある海底駅を見学しました。大して好奇心を満足させる程のものと思いませんでしたが。

道南の大沼公園では、ログハウス風のホテルに一泊、静かで風趣ある一夜を過ごし、翌日公園内の大湖小湖を遊覧船で巡り、遠く近く駒ヶ岳の美しい姿を眺め、船の波にゆったり揺れる睡蓮や河骨の可憐な花や幾つがいかの白鳥にすれ違うなど、さすが道南一の観光地の雰囲気、まるで絵ハガキの世界でした。その外富良野観光の夜は十勝山麓の白金温泉の旅館に泊まりましたが、これは期待外れの一言で片づける外ありませんでした。

稚内への列車待ちの時間を利用して、旭川市内を遊覧バス（3時間コース）で見物しましたが、北海道における織物の名品として知られているユウカラ織の「優佳良織工芸館」では、春夏秋冬をイメージした各種の織物工芸品が多数展示され、芸術味あふれる豪華な美に眼を楽しませました。

さてこの旅の目的であった富良野のラベンダーと礼文島のお花畑は、期待通りに満足しました。先ず富良野ですが、前記のように最も晴れやかで美しい季節のさ中とて観光客は大勢押し寄せていましたが、私は一人旅の気楽さ、中富良野駅下車後レンタサイクルで、のんびりファーム富田と町営ラベンダー園を廻り、花々の彩りとほのかな香りを満喫しました。

ファーム富田は広さ10ヘクタールの大花園で、濃紫色のラベンダー畑を中心にポピー、チャイブ、ジャーマンアイリス等紅色、黄色、白色の縞模様の丘を形づくっており、多くの人々が花々の間をそぞろ歩きして居り、私もその中の一人として写真を撮ったり、アイスクリームを食べて休憩を楽しんだりしました。町営の花園には、丘を昇降するリフトが設けられ、主として若者達が利用して居りましたが、私もこれで昇り降りして花畑を眺め、降りの時は真向かいに富良野の広大な田園風景を見はるかし、その涯には残雪の十勝連山が延々たる山波で地平を飾っていました。

次に礼文島のお花畑の方も、なかなかの味わいを感じました。礼文島へ渡る前夜は稚内全日空ホテルに泊まり、夕食は市内飲食街の小料理店でとりましたが、この店は誠に心に残る人情

と味の店でした。そして翌早朝稚内からのフェリーで、礼文の香深港へ渡りました。香深から約6時間かけて、礼文林道に群生するウスユキソウやその道中に点在するチシマレンゲを見て廻り、次には桃岩という巨岩と傍らの展望台の周辺の大花畑の風景を楽しみ、ビデオ撮影したりしました。ところがその日は日本海から濃い海霧（ガス）が次々と襲って来る有様で、晴れておれば指呼の間に見られる利尻島の美しい姿は見え、お花畑も今晴れたかと思うと忽ち乳白色の世界に没してしまうと言う状況でした。それでもツリガネニンジン、紫、チシマキンレイカ、黄、チシマレンゲの濃いピンク、エゾカンゾウの濃い黄、レブンウスユキソウの純白、海霧の晴間に眺められる花々は却って新鮮な味わいを感じさせてくれるのでした。殊に颯々と山肌を走る冷たい海霧の中でそよぎ続けるウスユキソウの可憐な姿は、今も眼に焼き付いており、見に行った甲斐があったなと回想している次第です。

書きたい見聞は外にも色々ありましたが、紙数も大分超過したようなので止めます。

往路はJRの列車を色々と乗り継いでの旅でしたが、帰路は稚内空港から関空へのひとつ飛びで、北海道旅行も便利になりました。



楽しんでこそ 人 生

梶 田 久 夫

ある新聞に、英国を代表する起業家スチャード・ブランソン、ヴァージングループ会長の人生哲学が書かれていた。彼は、レコードや映画などエンターテインメント産業から航空、金融、サービスまで幅広く事業を手掛け成功された。その理由は、「人生はこうあるべきと規定しない」柔軟な態度で、「新しい挑戦を楽しみ、人生をも楽しむ」ことが、彼の人生哲学と言われている。

ヴァージンの次なる挑戦は、コカ・コーラという、ガリバーが君臨するコーラ飲料市場へと闘志を燃やし、「新しい事業を始めると、新しいことが学べる。だから面白い」と言われ、現

在低迷が続く日本経済に、ブランソン氏のような起業家の登場を待ちわびており、失敗を恐れない積極果敢な姿勢が現状打破するメッセージのようである。

又、英国の代表する作家アーノルド・ベネット氏も「賢く生きるとは、精一杯に生きること」と言われ、常に前向きに生きること、与えられた寿命が尽きる日まで、絶えずさまざまな物事に深く感動し、何かに没頭して生きることが、これ以外に人生の楽しみ、成功と呼べるものはないと言っている。

即ち、自分を最高に生きるには、仕事への意欲と姿勢がその人の価値を決めるように思えてならない。

ブランソンもベネットも、自分を最高に生きる。賢明に生きる方法は、先ず自己修養、知的鍛練の結果、「楽しむ人生の暮し方」をアドバイスしているように思えてならない。

昔より「好きこそ、もの上手なり」の諺の如し。

春山登山の回想

太 田 武 男

昭和44年税理士開業当時、脂肪ぶとりの私は「登山の為に事業を行っている。」と自負していた関与先の社長と登山のつき合いが始まりました。彼は20歳代から本格的な登山を楽しんでおりました。昭和48年頃から彼との山のつき合いが始まり2年程は家内を含めて時々六甲、比良、その他近郊の山歩きを楽しむかたわら、吉野から大峰、鳥取大山等彼と2人の登山に出かけるうち、昭和52年7月北アルプス燕岳から槍ヶ岳に至る表銀座縦走（一夜行山小屋2泊）で、好天に恵まれた事が幸いして、すばらしいアルプスの魅力にとりつかれました。アルプスの素晴らしさを家内にも体験させようと、昭和54年7月20日、夜行列車により翌朝上高地から西穂高山荘に登り（小生は2回目）、翌22日早朝ガスのかかった稜線を独標に到着、小休止後更に第1、第2のピークを超えて、濡れた岩場を鎖に助けられ、家内は初めて2,908mの西穂高岳



雪に覆われた春の北アルプス（燕岳頂上直下にて）平成 3 年 5 月

の頂上に立って、喜びと感激を味わいました。

当時は登山好きの社長と 2 人パーティーの登山と、家内と 2 人の登山と、多い年は年 6 回の登山を楽しんだ年もありましたが、昭和 55 年からは家内も毎年 5 月の連休、夏、秋と年 3 回山小屋泊りで登山し平成 6 年迄続きました。

加賀白山からの感激のご来迎（56 年 7 月）、裏銀座縦走（61 年 8 月）、南アルプス北岳からの縦走（62 年 8 月）、3 度目の挑戦で果した剣岳登頂（63 年 8 月）等、当時の感動を忘れることができません。

反面、荒天時の春の雪山の苦い経験も何回か体験しました。最も恐怖の体験は、平成 4 年 5 月のハツケ岳登山でした。同年は冬から春先にかけて降雪の多い年であり、美濃戸口から入山して赤岳に登り、稜線は風のため積雪が少なければ硫黄岳縦走も可能であればと登山計画により、5 月 3 日予定通り正午ごろ行者小屋に到着。予想より若干多い約 1 m の積雪。曇り。地蔵屋根を計画通り赤岳石室迄登るかどうか迷い乍らの昼食をすまし、小屋の表に出て、一面雪に覆われた登りルートを確認すると、他の登山者も少数乍ら登っているのが確認できたので、我々もアイゼンをつけて出発（午後 1 時半）。次第に高度を上げて約 1 時間余、更に急峻なルートを踏み跡を頼りに 20 分登ると、地吹雪の中に眼前の稜線が見えかくれしている。然し風が強く前の登山者の踏み跡は殆ど消えている。夏は鎖が張ってあるが、すべて雪の中、更に急な尾根のため雪尻状になって左右共切れ落ちている。足の踏み場所を少しでも間違えば滑落である。稜線迄の約 25 m 程の距離を四ツ這いになり、私

の踏み跡についてくる家内に気を配り乍ら、緊張の中慎重に一步一步登り、無事稜線に辿り着いた時は命拾いをした思いでした（午後 3 時 30 分）。午後の時間帯のため雪が柔らかく、アイゼンの利きが悪く、風にも悩まされ二度と経験したくない登りでした。

赤岳石室小屋は宿泊者僅か 25 名程、翌朝は風も強く赤岳登頂を途中で引き返し、前日のルートをアイゼンを効かせ乍ら下山した。

家内とのアルプス登山は平成 6 年 9 月蝶ヶ岳登山以来、体力差（？）から同行登山も困難かと思われる年齢となり、小生のみ単独、又はツアー参加で 2,000 m 程度の登山はしておりますが、今後もできるだけ体力維持のため続けられればと願っている昨今です。



私と俳句

伊 藤 誠 康

何時頃でしたか、浪速支部にも俳句の会が発足しました。「たくなみ会」と称され、井澤先生を筆頭に、大野裕康先生・辻本友明先生ほか錚々たるメンバーが名を連ねられ、活発な活動をされているそうです。私も大野先生から再三のお誘いを受けたのですが、自分自身の資質を知り抜いている私にとってはどう考えても楽しむどころか苦痛としか感じないと思い、丁重にご辞退させていただきました。

そんな私が、「俳句」について何を書こうと

しているのか不思議に思われることでしょう。実は、1句だけ心に残っている句があるのです。その句について書いてみたいと思っています。

その句を聞いたのは、昭和32～33年、私が小学校3年生か4年生で、丁度学校で俳句について習い始めた頃です。当時私は東京の新宿に住んでいました。その頃の新宿は今の新宿とは違い、広い原っぱがあって野球をやったり、道路でローラースケート等が自由に出来る時代でした。また、ちょっと路地に入ると井戸があり、夕方になるとそこでは文字通りおばちゃん達が井戸端会議をし、勝手口には赤々とした七輪に薬缶や鍋が掛けられ、あるいは魚が煙を出して焼かれていたりという光景が至る所で見られました。

ある日、国語の授業で「俳句」を作る宿題がありました。私自身はどんな俳句を作ったのかまたは宿題を忘れたのかは全く覚えていませんが、クラスメートの女の子が次のような句を作ってきました。

さんま焼く　にほいただよう　夕べかな

季節は秋、釣瓶落としの陽は疾に暮れ、各家の台所からは夕飯の支度のいいにおいがしてきて、外で遊んでいる子供達はもう家へ帰る時間になったことを自然に知らされる。最初にこの句を聞いた時、そんな感じを受けたものです。

彼女も、きっと勝手口におかれた七輪の上で焼かれているさんまの煙のにおいを感じながらこの句を作ったのではないかと思います。

この句が文学的に優れているのか劣っているのか、あるいは俳句を作る上での決まりごとに合っているのか間違っているのかは私には判りません。また今この句を聞けば、これほどの印象は持たないと思いますが、小学生として同級生が作ったということで印象深く残ったのではないかと思います。

この句を思い出す度に、そそくさとした現在から放れ、ゆったりとした時間の流れていた当時のことが思い出されてなりません。

私にとって、郷愁を誘われる心に残る一句なのです。



ありがとう浪速

山 崎 二 郎

昭和32年の3月、西税務署を最後に、無謀にも実社会の荒海に飛び込んだのでありますが、以来大過なく今日を迎えられました事は、近畿税理士会浪速支部の先生方の御厚情の賜と深く感謝に堪えない次第であります。

思えば、当時の日本経済は高度成長のスタート時点と言うべきで、港区、大正区等にあっては未だ「焼け跡的」な空地が点在し、雑草芒々の情景が所々に見られ、又当時の大阪市内はチンチン電車が万能で「坪当り五万円」の売地の立札が走る電車の窓から随所に見受けられると言う、のんびりムードであり、今日では想像も出来ない隔世の年代でありました。

当時の私は年齢も37歳と血気盛りで、体力もあり夢も希望もありました。その上勤務を退めた以上、前向きに仕事する外に方法はなく、唯無我夢中に走り廻り飛び廻りました。酒も呑みました。

仕事の遂行上「苦しい時」「悲しい時」もあり、又「嬉しい事」「楽しい事」もありました。時には「焦燥にかられ」不安で夜もろくに寝られぬ日もありましたが、過ぎて見れば「月日の経つのは早いもので」今は「はや77歳(喜寿)」と信じられない程の速度で歳月が流れて居るわけであります。

振り返れば過去とは誠に儂い空虚なものであると思いがしますが、浪速支部での思い出は一生忘れることはないでしょう。人間一層の充実を期するため「過去を振り返り、大いに自己反省」を忘れず、自己開発に努力し以て小説の「化石」の主人公ではありませんが、死期に至って悔恨、狼狽のない人生とする覚悟で居ります。

浪速支部の益々の御発展と会員先生方の御繁栄をお祈りいたします。

ありがとう浪速支部、／

委員会だより

支部行事報告（平成 8 年 1 月～平成 8 年 7 月）

◎総務委員会



○第16回定期総会（H8.6.5）

会 員 総 数 120名

出席会員数 98名（含委任状44名）

場 所 東天閣

議 長 太田 武男先生

議事録署名人 二間瀬啓蔵先生

渋谷 忠芳先生

第 1 号議案 平成 7 年度事業報告並びに決算
書承認の件

執行部報告、監査報告ののち全員承認

第 2 号議案 平成 8 年度事業計画案並びに収

支予算案承認の件

執行部報告ののち全員承認

第 3 号議案 支部役員（幹事 1 名）選任の件

執行部は支部規約第 9 条及び第 10 条により
上記の議案を上程し、種々説明を行い、下記
の者を指名し、満場一致をもって承認可決し
た。なお被選任者はその就任を承諾した。

幹 事 岡 正

定期総会終了後懇親会

○役員会

H8. 4. 15 H8. 5. 1 H8. 7. 25 計 3 回

○正副支部長会

H8. 1. 8 H8. 3. 28 H8. 4. 8 H8. 4. 19

H8. 4. 24 H8. 7. 25 計 6 回

○署支部懇談会

H8. 4. 15 H8. 7. 25 計 2 回

○支部長会

H8. 4. 5 計 1 回

○顧問・相談役会

H8. 4. 26 計 1 回

○浪速税務署管内税理士一覧表の配布

（H8. 6. 1 現在）

正会員 119 名 準会員 14 名

○平成 8 年度支部連絡組織表の配布

（H8. 7. 1 現在）

暑中お見舞申し上げます

支部役員一同

支 部 長	稲 垣 良 三	幹 事	岩 橋 一 好	幹 事	藤 原 伸 彦
副支部長	梶 田 惇	同	岡 正	同	紀 村 一 太
同	榮 村 健 造	同	伊 藤 誠 康	監 事	高 橋 一 夫
同	烏 野 利 勝	同	中 野 孝 治	同	早 崎 哲 雄
同	檜 垣 典 仁	同	大 野 裕 康	本部理事	辻 本 友 明
幹 事	若 林 文 雄	同	柏 山 行 雄		

○名札（署玄関前）

新 調 6 枚 澤田 透、黒山寿文、前田成弘、
和田正宏、山崎二郎、山崎通也
取外し 4 枚 金田 毅、藤原達郎、山崎二郎、
山崎通也

○H 8. 8. 「近税なにわ」第12号
最終校正会議

◎経理委員会

- H 8. 3. 下旬 平成8年度支部予算案作成
○H 8. 4. 20 平成7年度支部決算書作成
○H 8. 4. 24 平成7年度支部決算書につき、
監査を受ける。
○H 8. 7. 1 支部懇親旅行につき予算の最
終検討を行う。

新年度に入り、早速に支部会費をご納入頂き
厚くお礼申し上げます。なお、本年度より会費
の納入につきましては、すべて郵便振替の方法
にてお願い致すこととなりました。未納入の先
生方には、お手数ですが下記口座へお振り込み
下されたくお願い致します。また、振替用紙の
無くされた方は、榮村（641-3660）までご連絡
下されば、ご送付致します。

※ 郵便振替口座

00920-20-2-5121 近畿税理士会浪速支部

◎広報委員会

- H 8. 7. 2 「近税なにわ」第12号
発行準備会議
○H 8. 7. 22 「近税なにわ」第12号
編集会議
○H 8. 7. 29 「近税なにわ」第12号
校正会議

◎厚生・事業委員会

○新春懇親会

H 8. 1. 17 ホリディイン南海 参加者69名

○夏期懇親会

H 8. 8. 1 鳥よし 参加者66名

○支部親睦旅行

H 8. 7. 5（金）～H 8. 7. 6（土）
東北・仙台方面 参加者43名
ゴルフ場 名取ゴルフクラブ

○弔事

H 8. 5. 25 藤原達郎先生 死去

○浪一会

H 8. 4. 3 砂川国際G・C 参加者17名
優勝 高里 義夫 G96 H20 N76
2位 木村 光男 G101 H25 N76
3位 高橋 一夫 G91 H14 N77

H 8. 5. 14 堺C・C 参加者15名

優勝 岩橋 一好 G80 H8 N72
2位 原 仁一 G86 H13 N73
3位 稲垣 良三 G111 H37 N74

H 8. 6. 18 堺C・C 参加者15名

優勝 小林 剛三 G92 H18 N74
2位 岩橋 一好 G81 H6 N75
3位 梶田 惇 G103 H27 N76

H 8. 7. 5 名取G・C

（ダブルベリア方式） 参加者30名
優勝 岩橋 一好 G84 H12 N72

新しい時代のニュービジネス 代理店経営のおすすめ

全国の税理士会では、既にたくさんの先生方が周辺業務の一環として
積極的にご採用いただいております。
詳細は当社の担当職員におたずねください。

〈お問い合わせは下記へ〉

大阪市中央区南船場2丁目4-8 第百生命ビル9F
関西特別法人部 TEL (06)262-6214



第百生命

2 位 早崎 哲雄 G92 H18 N74

3 位 若林 文雄 G92 H18 N74

○浪青会

H 8. 5. 18 秋津原ゴルフクラブ

◎研修委員会

○H 8. 5. 9 第 1 回研修会

かんぽセンター 5 F 参加者 76 名

・テーマ 改正所得税法等について

・講師 高橋 誠一
個人課税第一部門統括官・講師 山下 和功
個人課税第三部門統括官

・テーマ 改正法人税法・消費税法等について

・講師 森川 宗照
法人課税第一部門統括官・講師 柳本 澄雄
法人課税第一部門上席調査官

◎税務援助対策委員会

○小企業者税務援助対策連絡協議会

H 8. 1. 17 場所：浪速納税協会

○確定申告期地区納税相談実施要領説明会

H 8. 1. 17 場所：ホリディイン南海

出席者 62 名

○商工会議所記帳指導連絡協議会

H 8. 1. 25 場所：商工会議所浪速支部

○阪神・淡路大震災による被災者のための「広域申告相談センター」へ 15 名の会員を派遣しました。

H 8. 2. 1～3. 15 (板宿、西宮、北)

○所得税等の地区納税相談所の開設

H 8. 2. 16～3. 13

支部、納税協会共催で地区納税相談所 3 会場を開設 (納税協会、区民センター、新世界会館)

従事人員 62 人 (延べ日数 62 日)

ご協力有難うございました。

○支部役員と記帳指導担当税理士の協議懇談会

H 8. 3. 26 場所：かんぽセンター

出席者 12 名

○日本税務協会 平成 8 年度継続記帳指導担当者会議

H 8. 5. 29 場所：浪速税務署

担当者：中谷裕之、安居 弘、南 順治、森 英雄、栗原文雄 (日税派遣)
白川勝己、安井進一、烏野利勝、在間秀夫 (協会支部派遣)

○商工会議所継続記帳指導

担当者：栗原文雄

○白色者個別指導

担当者：安井進一

○大阪市税務相談 (毎月第 4 水曜日)

担当者 下間 茂 (H 8. 4 月より)

指導担当の先生方にはご苦勞をおかけします

加入促進キャンペーン期間中

この機会に是非、ご検討下さい。



もし、病気やケガで仕事ができなくなったら……？

…… 全税共の **所得補償保険**

就業不能期間を補償します。

⊕税理士本人に限り、最長 75 才まで補償を延長

⊕関与先も同条件にて加入できる

⊕免責期間 7 日

全国税理士共栄会 指定代理店

株式会社 日税サービス 大阪 06 (577) 0051

がよろしく願います。

○浪速納税協会

個人の決算指導並びに平成7年分確定申告期(3.14・3.15)の納税相談に6人の会員を派遣しました。

追記：今年度より個人事業者に対する複式帳簿の浸透を図るため、納税協会の会員を対象とした簿記教室を開催することになりました。

予定では、9月以降、1クール5回の予定で、3クール、1回につき夜間2時間程度実施します。講師のお申し出をお待ちしています。

第3条第1項第2号該当表彰者

小林喜継 先生
河合 薫 先生

支部行事予定

- 9月 ゴルフ予選会(3日)
ボウリング予選会(6日)
浪速区民まつり(8日)
- 10月 麻雀予選会(5日)
囲碁予選会
署支部懇談会
研修会
- 11月 「税を知る週間」各種行事
- 12月 署支部懇談会
研修会

本会主催地域対抗競技会

- 10月9日(休) ボウリング イーグルボウル
10月21日(月) ゴ ル フ 三木吉川CC
11月16日(土) 座 禅 南禅寺
11月22日(金) 囲 碁
12月6日(金) 麻 雀 東明

朱夏競詠

炎天下日蔭に沿ひてゆく用事

(順不同)

平安座佐知子

金堂に沿へば寝莫座の敷かれをり

辻本 友明

古戦場一望にして鞆草

菱木 淳一

ビル街に風鈴の音聞へけり

木村 守夫

風鈴やベビーの声に跡切れをり

檜垣 典仁

栓抜くや泡一瞬にラムネ飲む

岡 正

海霧走りお花畑のかき消され

井澤 清仁

不惑われ切れぬ尻尾の蜥蜴かな

大野 裕康

疾病重点型L

総合事業保障プラン タイプ

- 日本人の平均寿命をこえる85歳までの長期保障、しかも保険料は期間中一定
- 重責にふさわしい最高3.1億円の大型保障
- 退職金・功労金などの財源として利用

ワン ツウ スリー
1・2・3運動展開中です!!

●詳しいお問い合わせは



大同生命

大阪中央支社/大阪市中央区谷町1-5-4 TEL 06-942-0391

支部親睦旅行



みちのくへ

林 田 久 美

7月5日、浪速支部始まって以来という、箱根の関所を眼下に東上、仙台空港へ総勢43名内女性らしきもの初参加1名。空港の外は肌に涼しい風、さすが大阪とは違う。

名取GCにて別れ観光組は蔵王へと小雨、霧の中をバスは走る。一寸遠く楽しいガイドさんで退屈はしなかったが、折角のお釜も、ちらりとも見えず残念だった。しかしバスの外は13度との事であったが、細身では飛ばされるほど風が強く、体感温度はもっと低かったと思う。東北だからと7月であるにも拘らず、上着を用意していて良かったが、これ程とは想像出来なかった。残雪もあり、地球儀では小さい日本も、広いものだ改めて感じた次第である。昼食は山の洒落た広いレストランですませたが、ビールは余るほどあってお酒が一本しか出ず、お待ち先生にはお気の毒に、もう置いて無いとの事。冬場の若人の為かワインはあったようだが。窓の外を何気なく見ていると大粒の雲が降っていて、7月に見る事が出来たと言うことに妙な感激を覚えた。ガイドさんの話では前日は雷と雹で大変だったとの事。

次なる目的地の山寺への途中、この雨だから何処か違う処へ決を取るのはどうだと言う話が

出たが、ガイドの職務熱心に押されて、結局山寺到着。両側よりの樹木で雨のかからない処もあったが、傘をさし石段をひた登り1,030段とかの3分の2位でリタイア。下りを思い無理出来なかったが、何事につけ途中でやめたこと無いのに、それに拘りが残った。ゴルフ組と合流後ホテル着。他の先生方は何名かずつ和室、私はツインの洋室をゆったりと使わせて貰った。急いでシャワーを浴び7時から宴会、若いコンパニオンが着物姿で多数居て、男性諸兄は満足?。幹事さんにより趣向を凝らしたお遊びがあり、楽しませて頂いた。

翌日は、うって変わって良い天気。五大堂、瑞巖寺、湾めぐりと景観を楽しみ、かもめが何羽も船を追いかけて、目前に迫るさまは、ヒチコックの映画ばかりであった。

歴史で習った平泉の中尊寺は、境内は広く、金色堂は、眩しく華美であった。其の後3名の先生方と毛越寺に行き、思いがけなくも鹿踊りの本物を見ることが出来た。あやめも、多品種大きな花卉で咲き競い、静かさも良い。平泉文化史館では大粒の砂金の山盛りを見て都と対抗出来たのも頷けた。

宮沢賢治記念館も静かな樹立の中にあり、資料を見るうち、知っていた以上に幅の広い偉大な人であった事が解った。花壇の設計までやっていたのだ。

花巻空港から帰阪。久方振りの小さい飛行機で揺れたが、名古屋上空で雲が切れ、低いだけに素晴らしい光の競演が見られた。

沢山の先生に気を使って頂き感謝して居ります。本当に有難度う御座居ました。 完



中尊寺にて



優勝して しまいました

岩 橋 一 好

平成8年7月5日支部旅行初日、ゴルフへ行くため早起きするのは慣れていましたが、飛行機に乗って行くのは初めてのことでした。まして、去年の宮崎行きで暴露してしまった私の飛行機嫌い（高所恐怖症）が重なって、当日は、5時にセットした目覚まし時計の鳴る1時間以上も前から起きてしまいました。前日も寝付けなかったのは言うまでもなく、睡眠時間は約3時間、こんなことでメンタルなスポーツであるゴルフがうまくいくはずがないと、半ばあきらめておりました。

機中では、旅行委員のゴルフ馬担当として搭乗中の大半の時間を磯部光淳先生と2人で集計作業に追われて、飛行機の恐怖からは少し解放されましたが、集計では私の入っている4枠がよく売れているではありませんか。同枠もう1人は内海先生で、「俺、今日はアカンと思うから内海さん頑張ってるね。」と話しておりました。

仙台空港に到着してすぐにバスに乗り、名取GCへと向かいました。今年は初日にゴルフということで時間的な余裕がなく、慌ただしく第1組でスタートしました。

素振りもそこそこに、1番ティーショットはやや右目ながら、まずまずのナイスショットで2オン2パットのパー。以降ショットは安定していて、ほとんどグリーンをとらえましたがパットが下手で、21パットで40という、ショット数



名取ゴルフクラブにて

よりパット数の方が多い変なスコアになってしまいました。

午後からは、雨も降りだして風も強まり、集中力が続かずガラガラ叩きの44というスコアで、グロストータル84となりました。

浪一会のハンディは6なので（優勝したよって、こんダから4やと原先生）、普段の浪一会でしたら、ネット78で全く優勝圏外のところ、今回の支部旅行コンペはダブルペリア方式を採用するということで、かくしホールがうまく作用しましてハンディが12もついてネット72となり、優勝させていただきました。

本人にとっても予想外で、以前あるダブルペリアの競技に出た時、グロス83でネット80ということもあったほどで、これは運としか言いようがありません。

ということで、標題のとおり『優勝してしまいました』となったわけです。

同じ組の高里義夫先生、岡本醇先生、藤原伸彦先生、また、他の先生方。浪一会ではよくご一緒させていただいていますが、旅行のゴルフならではの和気あいあいとしたムードでラウンドさせていただきました。有り難うございました。

また来年もV2目指して頑張りますのでよろしくをお願いします。

「頑張らんでええ、」……スミマセン。



松島湾船めぐり船上にて 撮影 中野孝治

新入会員ご紹介

澤 田 透

四十住 澄男



事務所 浪速区立葉 1-4-8
 山北ビル 井澤清仁税
 理士事務所内
 TEL (568) 0548
 FAX (561) 4272

趣 味 読書(雑誌)

支部入会のご挨拶

このたび浪速支部に登録させて戴きました澤田透でございます。

現在、井澤清仁先生の事務所でお世話になってます。早いものでこの仕事に従事するようになって28年もの年月を経ましたが、振り返りましてもあまり感慨もなくただ慌ただしく日々を過ごしてきたことの反省のみが残ります。ただ、多くの人との出会い、また色々な業種の側面を垣間見ることができたのは、知識になり勉強である、この職業を選択したことに喜びを感じます。

この後の生活において、生涯勉強と思えば実に多くの宿題があるようで、また新たな意欲をもって前進したいと自覚しております。

自宅は茨木市で妻と長男次男の4人家族です。

皆様には今後共宜しくご指導ご鞭撻賜り一步一步向上してまいりたいものとお願いいたします次第であります。

事務所 浪速区戎本町2-9-7
 マンション宝恵3D
 TEL (643) 7537
 FAX (643) 7537

黒 山 寿 文

事務所 浪速区日本橋西1-4-16
 オクハタビル3階
 村山吉弘事務所内
 TEL (644) 1474
 FAX (643) 0625

前 田 成 弘

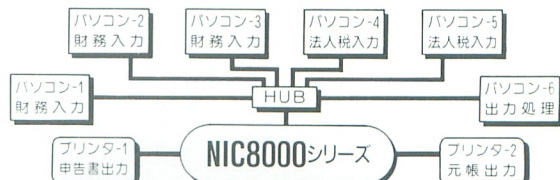
事務所 浪速区元町 1-5-7
 ナンパプラザビル5階
 TEL (634) 4502
 FAX (634) 3345

和 田 正 宏

事務所 浪速区元町 1-5-7
 ナンパプラザビル5階
 TEL (634) 3343
 FAX (634) 3345

誕生 NIC パソコン LAN システム

ICSのNICパソコンLANシステムは、分散入力により入力業務を効率良く処理でき、ネットワーク会計で最重要項目であるデータの集中管理と万一に備えてのデータのリスク対応を可能にした優れたシステムです。



例えば、パソコンを6台接続した場合、3台を財務入力、2台が法人税の入力、1台が元帳・試算表の出力という様に、パソコン側からすべての処理が可能です。



日本アイシーエス株式会社

大阪本社 〒543 大阪市天王寺区上本町6丁目3番31号 うえほんまちハイテクビル1F ☎06 (773) 3881
 東京本社 〒160 東京都新宿区西新宿7丁目10番1号 新宿第27ビル11F ☎03 (5386) 3881

資料請求
近税なにわ

藤原達郎先生を偲んで



藤原達郎先生ご逝去。思い出はいくらでもあります。初めての出会いは、昭和41年東税務署の法源係に在職した時で、当時先生は主任として法人数の最も多い署の申告及び処理の取りまとめをされておりました。係員の構成も年長者と未経験者が多く苦労の連続だったと思います。特に四国から交流で来た2人の人には気配りをいろいろされていたのを見て、その人柄のよさを感じたものです。この様な職場の中で先輩同僚からは達ちゃん達ちゃんと慕われ、又ユーモアのある人で、一日の仕事が終わった頃おもむろに机の奥からヘアトニックを取り出し少しづつ後退していく頭髮にふりかけ、皆から冷やかされると「効くのや」とニタッと笑っておられたのが昨日のこのように懐かしく思い出されます（頭髮に関しては最近まで気にしておられたようです）。

その後法人課税、続いて浪速へと転勤され、それから国税局の税理士係長、専門官として多難な諸問題をかかえる税理士会の組織の強化のため卓越した識見でその力を充分に発揮され、その評価も高く心身ともに充実された時期だったと推察されます。

57年に審判所に勤務されていた時、胃の手術で大阪市大病院に入院されたことがありました。私事で（大げさに言えば）進退にかかわることがありお見舞いを兼ねて相談に行きますと、術後で体調も万全でないのに病室から電話をして下さって私に忘れ得ぬ適切なアドバイスをして

いただき、本当に面倒見のいい懐の深い人でした。

最後の勤務をされた吉野税務署長の時に「新緑を見に来いよ」とお誘いを受け何人かで行ったことがありましたが、ある古いお寺に連れていかれ「この本堂の柱はそれぞれ異なった木の種類で出来ており、さすがは吉野やろう。」と自分の山から切り出して造られたように御満悦な講釈を聞かされたこともありました。

退官後は税理士会及び桜美会等の役員をされ税理士業界の発展向上に尽力されていたことは皆さんが御承知のとおりです。

達郎さんの誕生日は1月8日で「今日、俺の誕生日や一杯やろう」と当日に電話をいただいたのですが所用があって今年は行くことが出来ませんでした。昨年はお伴をさせていただきました。その時一緒に会食した女性からお祝の品を貰われその場で開いてみるとカーデガンでした。大変嬉しそうな顔をされ丁寧にお礼を言って元通りにきちんと包装を仕直された姿は礼節を知った几帳面な一面を見たような気がしました。

あんなに元気だったのに平成8年2月26日に体調が思わしくなく多根病院に入院されて5月25日67歳で御家族の看病も空しく不帰の客となられたことは寿命とは言え痛惜の念にたえません。何回もお見舞いに伺いましたが、言葉の端々に確申期に入り事務所のことが気がかりのようでしたが「伸彦君はしっかりしているし考えな

いで加療に専念することですよ」と言いますと「誰に言われたのか伸彦が毎日来てくれるねん」とチョット安心された様子でした。しかし病がだんだんと進行し同う度に体力が衰えていかれるのがハッキリとしてきました。

私が藤原さんの意識があって会話の出来たのは亡くなられる1ヵ月位前で、鎮痛剤の投与が効いてきて瞼がひつつぐらい眠たそうにされ奥さんが「横になって眠られたら」と言われると「眠くない」と頑固なところを出され「私が帰ったら寝ますか」と言いますと「うん」と返事をされ、よろけるように椅子から立ち上がって「忙しいのにありがとう」と精一杯ニコリとされ、30年来のお付き合いの中で最初で最後の握手でした。身体はやせておられましたが、その手は野良仕事でもしているようなガッチリとしたもので、昔の武士のような気概と自分のポリシーを確立した人だと強く感じました。もうボヤキも苦言も聞けません。いろいろ本当に

お世話になりありがとうございました。藤原大人さようなら。

斉岡貞夫

藤原達郎先生の遺句

福寿草春一番の知らせなり
花の窓一際映す春の宵
人づてにたづぬる事務や安らぎぬ
人づくり北山杉に粋を希ひ
公税になほ注ぎたきいのちかな

平成八年三月下旬 病室にて

編集後記

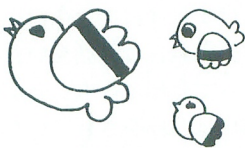
五輪が百年の歴史を刻みました。我が「近税なにわ」も、来たる21世紀に止まらず次世紀へと永続してゆきたいものです。

又、五輪は「参加することに意義がある」と

言われます。引き続き、お一人でも多くの会員先生方のご寄稿とご協力を賜り、充実した誌面づくりに邁進してゆきたいと思ひます。

今後とも「近税なにわ」へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

(竹田 記)



あなたの暮らしに役立ちます。

—スケールメリットを利用した割引価格で提供—

こんなにたくさん、阪奈税協の各種事業

- 各種保険（大型保障、所得補償、年金、総合事業保障、小規模企業共済、ゴルフアース）
- 業務関連用品、OA機器、オフィス家具、チタン製印鑑
- 報酬自動支払制度
- トリニテシステム（相続対策）
- 不動産情報（売買、仲介）
- 税理士（マーク入り）カード、ギフトカード
- VIP住宅ローン
- ゴルフ関連（会員権、用品）
- 紳士服・婦人服イージーオーダー
- 事務所、住居の引越
- 健康食品（プロボリス、ハチミツ）、和漢薬
- カーライフ関連（車検、ガソリン、リース）
- 複製絵画
- 囲碁通信ネットワーク
- 高級羽毛ふとん
- 髯公益社



詳しくはお気軽にお問い合わせ下さい。

大阪・奈良税理士協同組合

〒540 大阪市中央区谷町1丁目5番1号 大阪税理士会館1F
TEL 06-941-6888 FAX 06-947-2800